

Capa2（蓄電池用変電設備2000KV）

○本社所在地：山形県東置賜郡高畠町大字石岡178番地1

○事業概要：配電盤機器の設計、製造、販売

○常時使用する従業員：99名
（2025年7月時点）

○現在の売上高：24.8億円
（2025年2月期）

○法人番号：1390001010388

○Web：https://jowa-d.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
村上 秀樹

地域と共に未来をつなぐ企業を目指して

上和電機は「CONNECTING TOMORROW, SMARTLY」をパーパスに掲げ、電気を「つなぐ」人を「つなぐ」気持ちを持ち続けて、エネルギー社会を支える技術と誠実なものづくりで地域と未来をつないでいきます。私たちが目指す100億企業は、単なる規模の拡大ではなく、安心できる電力インフラを支え、再生可能エネルギー社会に貢献し、地域と雇用と豊かさ、そして誇りを生み出す一そのための約束です。これからも新しい技術への挑戦と信頼に根ざした企業を通じて、お客様・従業員・地域・社会と共に「未来」を築いて参ります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年に目標売上高達成後の103億円を目指し、大型蓄電池用配電盤の受注拡大、塗装工場新設による生産性向上により、年率20%売上増加を目標に取り組む。

2030年：60億

2033年：103億（事業目標）

2035年：125億

課題

- ・ゼネコンを中心に取引先の拡大
- ・納期前づくりにより、製造余力を担保し、受注を増やしていく
- ・知識、技能の伝承による、新人の早期戦力化
- ・受注増加により、組立工場の拡張が必要
- ・組織体制の見直しによる職務分掌と各セクション機能の向上

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・FIP10施策（再エネ導入の促進施策）により、系統に直結した蓄電池用配電盤需要の拡大による受注増
- ・高圧受変電盤（重量10t 容量2000KVA）を一体化した製品を製作可能な体制を作り、定置用蓄電システムに連動した製品を提供
- ・建設中の新塗装工場により、ステンシエル塗装（防錆）が可能になり、板金から組立まで一貫生産の確立
- ・各部門のシステム構築（DX化）と人員増強による生産性向上

実施体制

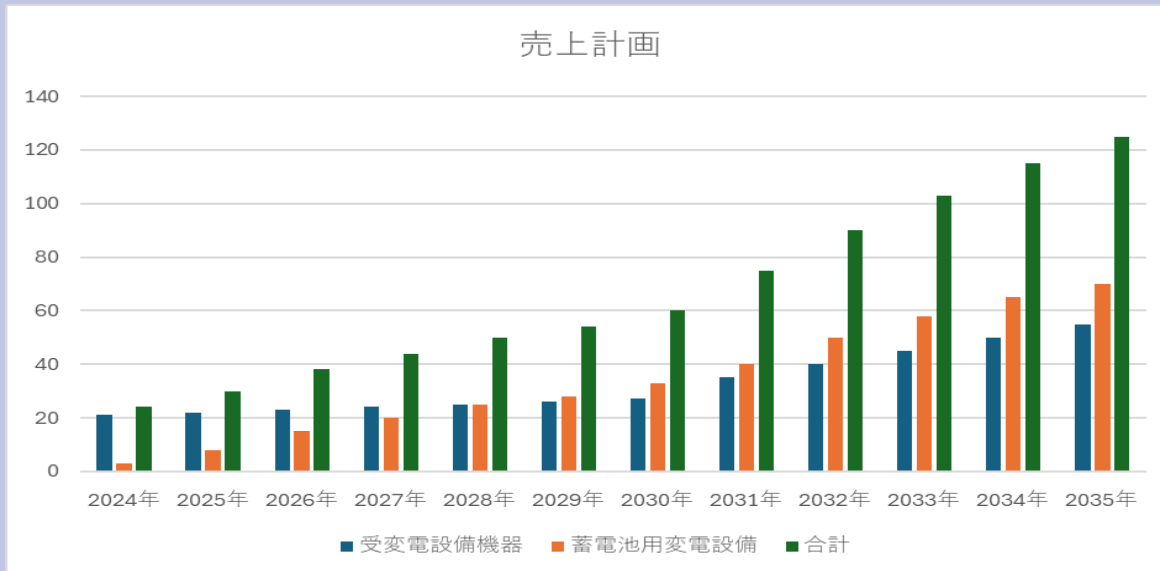
- ・2030年に向け、厚生棟を建設し、組立工場を拡張する
- ・各部門責任者の育成を図り、自立した組織体制を構築する
- ・生産管理、会計・財務管理をシステム化し効率を高める
- ・中間層の育成を図り、戦力化を推進する
- ・大型蓄電池用配電盤、受変電盤の生産効率を高めるため、自動搬送装置等の導入プロジェクトを立ち上げ

【売上100億円に向けての事業計画】

【2035年までの売上計画】

- ・100億販売達成年度は2033年とする
- ・成長販売カテゴリーは、蓄電池用配電盤とする（背景は右記に記載内容）
- ・受配電関連機器の国内市場動向
…電力会社や工場での更新需要堅調、データセンターやオフィスビルなどでの新規需要増加
- ・既存受配電盤製造販売事業も、市場需要増加により、短納期対応、カスタマイズ生産の特徴を活かし、2035年まで年平均11%伸長目標とする。

（図表1 売上計画）



【事業規模拡大を決めたリソース】

- ・下記グラフの2023年の実績を参考にした国内における2030年の系統用蓄電池の導入見通しは、約3倍と急増しており、今後も導入が進む見込み。
- ・2023年の実績を参考にした国内における2030年の系統用蓄電池の導入見通しは、約14.1～23.8GWhと見込まれる。
- ・更に国際的にも、定置用蓄電池の導入が拡大。蓄電池を含む世界全体のエネルギー貯蔵能力は、2030年には2023年の6倍に増加すると試算。
- ・系統用蓄電池市場需要に連動して、蓄電池用配電盤需要が高まる。
- ・弊社「高圧受変電盤」容量2000KVAは、受電盤、所内電源盤、低圧動力盤、PC接続器が一体になっており、現地組み立て作業を大幅に軽減できる。

（図表2 系統用蓄電池の現状と課題）

